

映画

いつまた、君と

ホーリー ジェン ザイライ
何日君再来

公開
記念

朗読音楽ライブ

2017年6月24日に全国公開される、俳優・向井 理の祖母である 芦村朋子の手記を映像化した映画『いつまた、君と ~何日君再来~』

この映画公開を記念して、原作となった手記「何日君再来」を朗読と音楽生演奏で構成した、朗読音楽ライブを開催いたします。

2017年

6/14 (水)

昼の部 15:00開場/15:30開演

夜の部 18:30開場/19:00開演

チケット料金: 各回 **3,800円**

※本イベントの詳細、チケット販売につきましては裏面をご覧ください

会場

千代田区立
内幸町ホール
(東京都千代田区内幸町1-5-1)

[JR・メトロ銀座線・都営浅草線]
[新橋駅]7番出口より内幸町地下通路経由、徒歩5分。
[都営三田線]
[内幸町駅]A5番出口より徒歩5分。

☎03-3500-5578
www.uchisaiwai-hall.jp



出演者

【朗読】岸本加世子
成田偉心

(映画『いつまた、君と ~何日君再来~』出演者)

【ストーリーテラー/歌唱】笠松はる

【音楽】松岡美弥子
(未来古代楽団)

吉田篤貴

【第二部進行】砂守岳央

(未来古代楽団)



朗読:岸本加世子



朗読:成田偉心



ストーリーテラー/歌唱:笠松はる



吉田篤貴



松岡美弥子



砂守岳央

映画

いつまた、君と

ホーリー ジュン ザイライ

何日君再来

朗読音楽ライブ

公開
記念
日記

朗読音楽ライブ:内容概要

<第一部>朗読音楽ライブ

映画の中で主人公の娘である“理”の母を演じた女優・岸本加世子と、“理”役を演じた新進 俳優・成田偉心による原作「何日君再来」の朗読。

そして物語のキーとなり、手記の題名ともなった昭和の名曲「何日君再来(ホーリージュンザイライ)」をはじめとする劇中音楽を、ミュージカル「李香蘭」主演の笠松はるさんの歌唱や「未来古代楽団」による生演奏により再現。

不器用だけど明るく生きる、実在の夫婦と家族の姿を通して、日本人のたくましさ、誠実な生き方を描く、愛の実話を朗読と生演奏というライブな表現で、映画より一足早くお届けいたします。

<第二部>スペシャルトーク

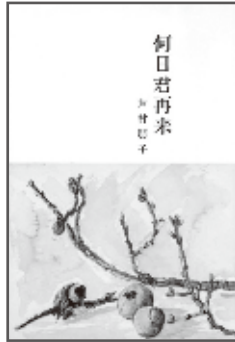
登壇者によるスペシャルトーク

【原作】芦村朋子

「何日君再来ホーリージュンザイライ」

向井理の祖母・芦村朋子が半生を綴った手記。向井理が大学生の時に、祖母の手記をパソコンで打ち直し、家族や親戚と共に自費出版をして、卒寿(90歳)をむかえた祖母へお祝いとしてプレゼントしたもの。題名は朋子さんと夫・吾郎さんとの思い出の曲「何日君再来」から。

<楽曲「何日君再来(ホーリージュンザイライ)」とは>
1937年に上海で製作された映画「三星伴月」の挿入歌で、空前の大ヒット曲になった。日本での曲名は「いつの日君帰る」。日本語バージョンとしては、李香蘭、テレサ・テン、渡辺はま子、ジュディ・オング、都はるみ、おおたか静流、小野リサ、夏川りみ、石川さゆりなど、数多くの歌手に愛され、歌い続けられている名曲。



岸本 加世子
朗読

映画「いつまた、君と ~何日君再来~」で主人公・芦村朋子の娘・芦村真美(現代)を演じる。主な出演作にドラマ「ムー」(1977/TBS)映画「HANA-BI」(98/北野武監督)「菊次郎の夏」(99/北野武監督)。近年の出演作に映画「おしん」(13/富樫森監督)「先生の迷い猫」(15/深川栄洋監督)、ドラマ「がっぱ先生!」(16/NTV)「トットてれび」(16/NHK)等がある。



成田 偉心
朗読

映画「いつまた、君と ~何日君再来~」で主人公・芦村朋子の孫であり、真美の息子である芦村理役を演じる。現役大学生ながら2016年俳優としてデビュー。ドラマ「東京女子図鑑」(16/Amazonプライム・ビデオ)「しあわせの記憶」(17/TBS)に出演。4月期火曜ドラマ「あなたのことはそれほど」(TBS系)榎本 祐樹役で出演中。



笠松 はる
ストーリーテラー・歌唱

東京藝大・同大学院声楽科卒業。第16回日本クラシック音楽コンクール声楽部門大学院の部最高位。2007年、劇団四季の初舞台でヒロインを演じて以降8年間、劇団四季の主演女優として数多くの作品で活躍。2014年末退団。「ミュージカル李香蘭」(2013、2015年)では主役・李香蘭を好演。近年の出演作はモノオペラ「声」(16)「ロマンシングサガTHE STAGE~ロアースが燃える日~」(17)等。



吉田 篤貴
ヴァイオリン演奏

ヴァイオリンとヴィオラの両方を操り、スタジオワークとライブ活動を開始。これまでに、絢香、今井美樹、河村隆一、秦基博、古川雄大、姿月あさと、蘭寿とむ、その他多数のアーティストとの共演を重ねる。その豊かな音色と鋭いリズム感を生かしてジャズ、タンゴ、クラシック、ジプシー、ポップスなどの多方面で注目を集めており、タップダンサー清水夏生率いる"2V -double ve-"、異色の7重奏IRO SEPTET等様々なバンドに参加。



松岡 美弥子
楽曲アレンジ・ピアノ演奏

展示や映像作品などの音楽制作、各種作編曲を手がける。また、ピアニストとして、クラシック、ジャズ、ポップスなどジャンルを問わず、ライブ・レコーディングに参加。鍵盤ハーモニカ奏者としても活動している。Sax、Marimba&Percussion、Pianoのトリオ「TOYSPARK」メンバー。砂守岳央とのユニット「未来古代楽団」メンバー。



砂守 岳央
総合演出・楽曲アレンジ

2013年「覚醒ラブサイバー」でフライングドッグからメジャーデビュー。同時に、同作品の小説版を電撃文庫からリリース。史上初のアーティストとライトノベル作家同時デビューを果たす。以降、作家と作曲家の活動を並行しながら、ボイスドラマ作品、声優、演歌歌手への楽曲提供、映画音楽、舞台演出などジャンルの境目を越えた活動を展開する。2015年からは音楽ユニット「未来古代楽団」を主宰。

チケット購入方法

【チケット販売】ぴあ

【受付電話】Tel:0570-02-9999
(24 時間受付、Pコード:556-965)

▶<http://w.pia.jp/t/itsukimi-event/> (パソコン・携帯共通)

※お申し込みには事前の登録(無料)が必要となります。



【一般お問い合わせ先】

東映ビデオカスタマーセンター
☎0120-1081-46

【受付】月~金、10:00~13:00、14:00~17:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)